

海域の概要

本湾は、奄美大島南側の加計呂麻島南部に存在する湾で、南部を太平洋に開いています。湾奥には諸鈍港および諸鈍長浜海水浴場があります。湾内はダイビングスポットにもなっています。



諸鈍湾

Specification

諸元

湾口幅：3.13 km

面積：10.69 km²

湾内最大水深：4.3 m

湾口最大水深：4.3 m

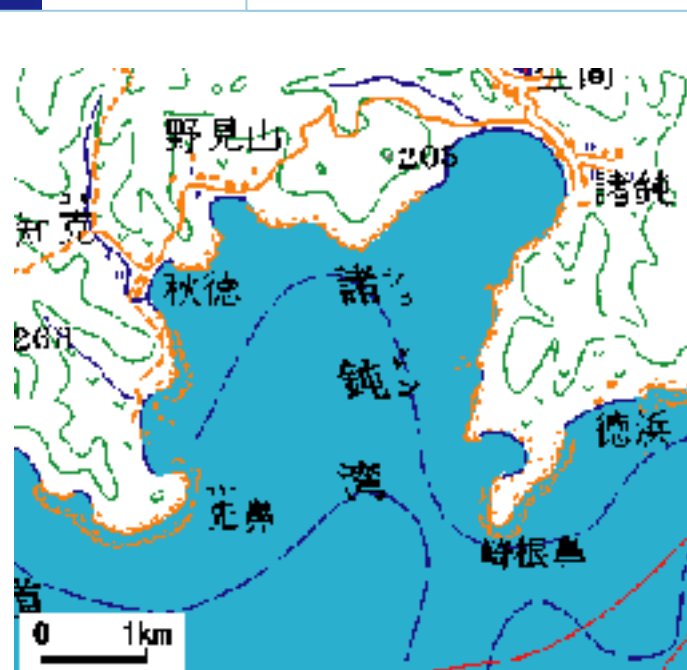
閉鎖度指標：1.04

備考：なし

Location

範囲または位置

鹿児島県大島郡瀬戸内町崎根鼻と同町先鼻を結ぶ線及び陸岸により囲まれた海域。



環境

奄美大島南部の加計呂麻島南東部に位置し、湾口を太平洋に開いている湾で、島の西方を黒潮本流が北上しています。気候は、南西諸島気候区に属し、一年中暖かく雨が多い亜熱帯気候を示します。夏季には台風の影響を受けやすい地域です。

湾内には数本の小河川が流入していますが、大きな集落もなく、水質は良好です。

湾内の底質は、ほとんど砂で構成されており、シルト・粘土を 15%程度含む地点もあります。

自然

諸鈍湾は、サキ二鼻（先鼻）と崎根鼻に挟まれ、水深は 20～40m程度で、やや良い錨地となっていますが、偏南風と偏東風のときには波浪が侵入してきます。

湾内には諸鈍長浜海岸、湾の東には徳浜海岸があり、海水浴場として利用されています。湾奥には、デイゴの並木が見られます。



諸鈍長浜海岸

文化歴史

源平の戦いに敗れた平資盛は加計呂麻島の諸鈍に居城を築き、薄幸な一生を送ったと伝えられています。

この資盛が、土地の人々との交流を広めるため教えたのが諸鈍シバヤ（芝居）で国指定重要無形民俗文化財に指定され、旧 9 月 9 日、大屯神社にて奉納されます。境内には資盛の墓碑があります。



諸鈍シバヤ

産業

諸鈍湾には、諸鈍漁港と秋徳漁港があります。

加計呂麻諸島の産業は、農業が中心で、サトウキビを基幹作物に、ニンニク等の野菜や畜産との複合経営が行われています。水産業では、大島海峡の静穏な海域を利用した真珠の養殖や、クロマグロの栽培漁業プロジェクトが行われています。観光面では、シーカヤックマラソン、伝統芸能の諸鈍シバヤ、安脚場園地などがあります。